

# センターだより

令和3年6月15日

No. 71

東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明  
指導主任 林 千 尋  
事 務 柴 田 弥 生

## 「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」

令和3年度がスタートしました。

本来であれば、昨年から1年間延期となっている「東京オリンピック・パラリンピック」開催に向けて、日本国中が活気あふれる明るい雰囲気になっているはずのところですが、昨年から続いている「新型コロナウイルス感染症」の終息の気配がみられず、まだまだ心配な状況が続いています。現状では「東京オリンピック・パラリンピック」が無事開催できるのかも不透明な状態が続いています。

そんな不安定な社会情勢の中、この地域に暮らす子どもたちには、健康で、明るく、元気に逞しく育ってほしいと願っています。そのためにも、子どもたちにとって、「家庭」「学校」「地域」が温かみのある居場所でありたいです。

「早く帰りたいと思える、温かみのある家族と暮らせる家庭」  
「楽しいと思って、安心して通い続けられる安全で夢のある学校」  
「いつまでも、長く住み続けていたいと愛着がもてる地域」

どんな「家庭」「学校」「地域」になれば、子どもたちは心穏やかに、楽しく、安心して過ごすことができるのでしょうか。それぞれの立場で大人が知恵を出し合い、工夫しながら子どもたちと接しています。

そんな毎日の暮らしの中で大切にしたいこと……。

それは「家庭・学校・地域が協力し連携し合う」ことです。

言い換えれば、「仲良く、協力する」ことです。

当たり前のことかもしれませんが、この「当たり前のこと」が、日常の生活の中で忘れ去られてしまうことも、当たり前のように起きてしまっています。

子どもたちを取り巻く環境を整えるため、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会、警察署、その他多くの関係機関がそれぞれの立場で、熱心に取り組んでいただいています。

少年センターとしても事業の一つとして、「少年指導員」として委嘱させていただいた地域の方による「声かけ活動」を行っています。以前は「地域での指導」と呼んでいました。

お住いの近くの地域を中心に回っていただいている指導員の方の中には、「子育ては何十年も前に卒業しましたが、子どもたちはいくつになっても可愛いので……。」と言って、子どもたちとの交流を楽しみにして「声かけ活動」に取り組んでいただいています。

センターとしては、そうした方々の「地域の子どもたちを愛する思い」などを大切に、そうした活動を広く伝え、多くの方々に知っていただきたいです。

## 「高校生（瑞浪高校）による、明るい街づくりの啓発活動」

4月23日午後4時から、瑞浪駅前で「子どもの笑顔があふれる、明るい街を作りましょう。」と印刷された東濃西部少年センター作成のティッシュペーパーを瑞浪駅利用者の方々に配布しました。配布してくれたのは、瑞浪高等学校の生徒会活動「生活委員会」のメンバー8名です。

コロナ禍ということもあり、ティッシュペーパーを手渡す際には、生徒たちは事前に先生が準備された手袋を着用し、一つ一つを丁寧に道行く人に笑顔添えて渡しました。



ティッシュペーパーの配付は、簡単そうに見えますが意外と大変で、快く受け取っていただけの方ばかりではありません。今回は、瑞浪高校の生徒さんのさわやかな笑顔もあって、多くの方々が受け取っていただきました。受け取っていただいた数多くの方々から「ありがとうね」「ご苦労様やね」などと声をかけていただき、とても微笑ましい光景でした。正に、「笑顔あふれる、明るい街」という一場面でもありました。



今回の啓発活動には、多治見警察署の生活安全課の方も参加していただき、高校生と東濃西部少年センターと共に、充実した活動ができました。

## 「少年補導部会（WEB会議）」より

4月27日に「岐阜県青少年育成県民会議」主催の「少年補導部会」が行われました。今回の会議は、コロナ禍のためWEB会議でした。参加者は、主に岐阜県内の少年センターの職員で、18名の者が約1時間、意見交流などを行いました。

意見交流の際、岐阜県内の各センターが抱える共通の課題として、「巡回活動の在り方」や「センターに寄せられる相談件数（電話・メール・来所など）の減少」が挙げられました。その際、「少年非行の概況」と題して講話をされた岐阜県警察本部生活安全部少年課の少年指導官の方から、「東濃西部少年センターの指導員さんたちが大切にしてみえる『補導ではなく声かけ』という捉え方をした活動はとても素晴らしい。」と誉めていただきました。

また、「センターに寄せられる相談件数の減少」は、東濃西部少年センターでも同様の課題です。その対策として今年度からは、「悩み事相談」だけではなく、「地域の活性化のための情報提供」など、間口を広げて取り組んでいます。

### 「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」

☆「楽しい話題」「伝えたい情報」「ちょっとした悩みごと」  
(身近な出来事など、連絡・相談ください)

### 「東濃西部少年センター」

0120-873-246 (携帯からもOK)

[anshin55@crux.ocn.ne.jp](mailto:anshin55@crux.ocn.ne.jp) (24時間受付)

相談時刻・メール返信は、10時～17時(日・月休み)

## 「少年センターへの相談・あれこれ」（4～5月）」

岐阜県内や多治見・瑞浪・土岐の中には、いくつもの相談窓口があります。それぞれ特徴もありますが、主に「相談」が中心のようです。東濃西部少年センターにおいても、「電話」「メール」「来所」など、様々な形態で活用していただいています。

少年センターでは、昨年度までは、「悩みごと相談」ということが中心でした。

年度初めに高校生と一緒に活動する機会がありました。その際、「悩みごとだけではなくて、私たちが暮らす街の様子など、明るい話題が広げられる場がほしい。連絡したら、紹介していただけますか。」という話を聞くことができました。

そうした意見は大歓迎です。そこで早速、本年度からは、より一層活用していただけるために、少年センターへの案内の内容を変更してみました。

### ☆「楽しい話題」「伝えたい情報」「ちょっとした悩みごと」 (身近な出来事など、連絡・相談ください)

4～5月に少年センターへ相談及び連絡を予想以上に沢山いただいています。その中で、連絡者のご了解を得ている内容について紹介をさせていただきます。

○私たちの高校では、明るい街づくりの啓発活動を行っています。こうした活動を広めるためにも、他校との連携をおこなってみたいです。

○夕方、少年センターの黄色のウェアや帽子をかぶった方が地域を回ってみえる姿を見かけます。子どもたちを見守って頂き、ありがたいです。

○高校1年生になっても、携帯電話を持つことを親から許してもらえません。お父さんが特に反対で、お母さんは「お父さんが許してくれたらいいよ。」と言っています。

○友達と携帯でラインをしているけど、すぐに返信しないと文句を言われるので困る。でも、嫌われるのも嫌だし・・・。同じようなことで悩んでいる友達、結構います。

○公民館で過ごす児童・生徒への対応で、問題があった場合の保護者や学校への連絡のあり方について迷うことがあります。

○「発達障がい」と思われるようなお子さんを持つ親から、「どこかに子どもを診察してくれるいい病院は近くにないですか？」と聞かれます。どこかないですか？

○高校で、「MSリーダーズ」に入って、活動をしています。さらに仲間を増やし、活動を広げていきたいです。どうしたら、さらに拡大した活動ができますか。

※ 「MSリーダーズ」とは、岐阜県の高校生が組織する規範意識啓発推進委員会です。

MSは「Manners Spirit (マナーズ・スピリット)」の頭文字です。

MSリーダーズを中心とした高校生が、社会参加活動等を展開することにより、少年の規範意識と啓発と健全育成を図ることを目指しています

警察署から認証を受けた生徒たちがなり、各地域において、清掃活動や老人ホーム慰問、薬物乱用防止に向けた啓発、少年警察ボランティアと連携した町内巡回、交通指導活動など、模範となるような啓発活動を自主的に企画し実行しています。

中学校では、「MS Jリーダーズ」として、地元地域を中心に活動してくれています。

## 「令和3年度 少年指導員委嘱式」中止について

令和3年5月8日（土）「土岐市文化プラザルナホール」において、令和3年度の東濃西部少年センター「少年指導員委嘱式」を行う予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令された状況下であったため中止としました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の防止のため、各地区の班長さんを対象とした規模縮小の形に変えて委嘱式を計画しましたが、令和2年度に引き続いての中止となってしまいましたこと、大変残念に思っています。

委嘱式10日前の中止決定及び連絡になり、関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

尚、委嘱式の式次第の中には、長年指導員として活動していただいている方々の「表彰式」を予定していましたが、実施できませんでした。

以下に表彰されました方々の紹介をさせていただきます。

### ☆所長表彰（指導員3年） ※敬称略

#### 【多治見地区】

伊藤 啓治 服部 克彦 高橋 重久 谷口 洋二 各務 功治  
石田 俊浩 知原 重樹 河村 峰敏 小塚 友啓

#### 【瑞浪地区】

小倉 永次 伊藤 芳子 横井 美佐子 丸山 和宏

#### 【土岐地区】

鵜飼 剛 近藤 大貴

### ☆管理者表彰（指導員5年） ※敬称略

#### 【多治見地区】

林 達郎 河地 和子 田口 千江子 河村 昌孝 三宅 俊秀  
佐々木 直人

#### 【瑞浪地区】

横山 知明

## 「東濃西部少年センター」から見える風景

少年センターは、多治見駅から南へ5分ほど歩いた位置にある「ヤマカまなびパーク」内の4階にあります。部屋の窓からは、北西に広がる多治見市の街並みや遠く先には自然豊かな山並みを一望することができ、とても良い眺めです。

少年センターがある4階フロアには、市民の方が利用できる「学習コーナー」があります。日中は主に大人（大学生を含む）の方々を利用され、夕方になると高校生の多くが学習しています。学校がお休みの日には、朝から晩まで多くの高校生や中学生、時には小学生も利用しています。学習する姿は真剣そのもので、横を歩く際の足音にも気を配るほどです。一人黙々と教科書や参考書・辞書などと向き合う姿は、学校で見られる姿とはまた少し違った雰囲気があります。

学習に来ている子どもたちの中には、同じフロアにある少年センターの存在を知って、来室してくれる子どもたちもいます。これからも学習コーナーを利用した際など、少年センターにも立ち寄ってほしいです。